

ナンバリング	授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)						
ET46J021	臨床心理応用実習B(心理実践実習C)(Practical Training in Clinical Psychology II(Advanced Practical Training in Psychology C))					臨床心理学						
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員						
選択	2	2年	教育学研究科			氏名 溝口剛・河野伸子 E-mail 7522 内線 t-mizo @oita-u.ac.jp						
授業の概要	医療機関における心理職の実務を学ぶと同時に、実習指導者等の指導を受けながら心理支援について実践的に学ぶ。具体的には、患者に関する知識を深めながら心理学的理解と支援計画の策定、心理支援やチームアプローチの実際、多職種連携と地域連携、職業倫理及び法的義務といった内容について実践的に学ぶ。											
具体的な到達目標	DP等の対応(別表参照)					1 2 3 4 5 6 7 8 9 10						
目標1	医療機関における心理職の実務について説明できる。											
目標2	指導者の指導の下で可能な心理支援を実践するとともに、患者に対する心理学的理解、支援計画、心理支援、チームアプローチ											
目標3	医療機関における多職種連携や地域連携、職業倫理、法的義務といった事柄について、実践と関連づけながら説明できる。											
目標4												
目標5												
目標6												
目標7												
目標8												
目標9												
目標10												
授業の内容												
1	オリエンテーション											
2	医療機関における実習(精神科医・コメディカル等レクチャー)											
3	医療機関における実習(精神科外来陪席)											
4	医療機関における実習(精神科外来陪席)											
5	医療機関における実習(精神科カンファレンス,リエゾン)											
6	医療機関における実習(精神科カンファレンス,リエゾン)											
7	医療機関における実習(作業療法)											
8	医療機関における実習(作業療法)											
9	医療機関における実習(集団療法,デイケア,SST,CBT,マインドフルネス等)											
10	医療機関における実習(集団療法,デイケア,SST,CBT,マインドフルネス等)											
11	医療機関における実習(集団療法,デイケア,SST,CBT,マインドフルネス等)											
12	医療機関における実習(集団療法,デイケア,SST,CBT,マインドフルネス等)											
13	医療機関における実習(集団療法,デイケア,SST,CBT,マインドフルネス等)											
14	医療機関における実習(集団療法,デイケア,SST,CBT,マインドフルネス等)											
15	医療機関における実習(集団療法,デイケア,SST,CBT,マインドフルネス等)											
ラーニング	A:知識の定着・確認	医療機関で臨床実習を行う。毎回振り返りを行い、学びや疑問を話し合う。				工夫 その他						
	B:意見の表現・交換											
	C:応用志向											
	D:知識の活用・創造											
時間外学習の内容と時間の目安	準備学修	各回の実習に関連する事項を事前に予習した上で実習に臨む。										
	事後学修	各回の実習で学んだ事項を事後に復習し、知識・技能の定着を図る。										
教科書	渡辺正幸(著)2015「改訂第2版 はじめての精神医学」中山書店 山下格(著)2010「精神医学ハンドブック 第7版」日本評論社											
参考書	実習において指示する。											
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	事前レポート	10%										
	実習への取り組み	50%										
	毎回の実習報告書	25%										
	最終レポート	15%										
注意事項	受講は、臨床心理学コースの大学院生で、臨床心理士受験資格取得のための必修科目(一年次開講のもの)について全ての単位を取得したものに限る。公認心理師受験資格取得のためには、本科目を含む所定の科目で合計実習時間450時間以上、うち支援担当270時間以上(うち、学外施設における支援担当90時間以上)											
備考	本科目は臨床心理士受験資格取得に関する必修科目である。臨床心理士受験資格取得のための必修科目については、別に配付する資料に基づいて履修すること。また、公認心理師受験資格取得のために必要な科目でもある。											
リンク	URL											